

# 令和3年産 仙南稲作情報（第3号）

令和3年7月1日発行  
宮城県大河原農業改良普及センター  
TEL：0224-53-3431 FAX：0224-53-3138  
※この資料に関する問い合わせは、  
上の連絡先までお願いします。

○生育は概ね平年並

○まもなく追肥（穂肥）の時期です。

— 幼穂長と葉色を見て、適期・適量の追肥をしましょう！ —

## 1 気象経過（丸森アメダス、6月1日～6月30日）

- 6月の天候は、19日の梅雨入り以降曇天や雨が多くなったものの晴れ間が見られるなどしたため、平均気温は平年より高く（+1.3℃）、日照時間も平年より多く（111%）推移しました。
- 6月の降水量は平年の半分程度となっています。

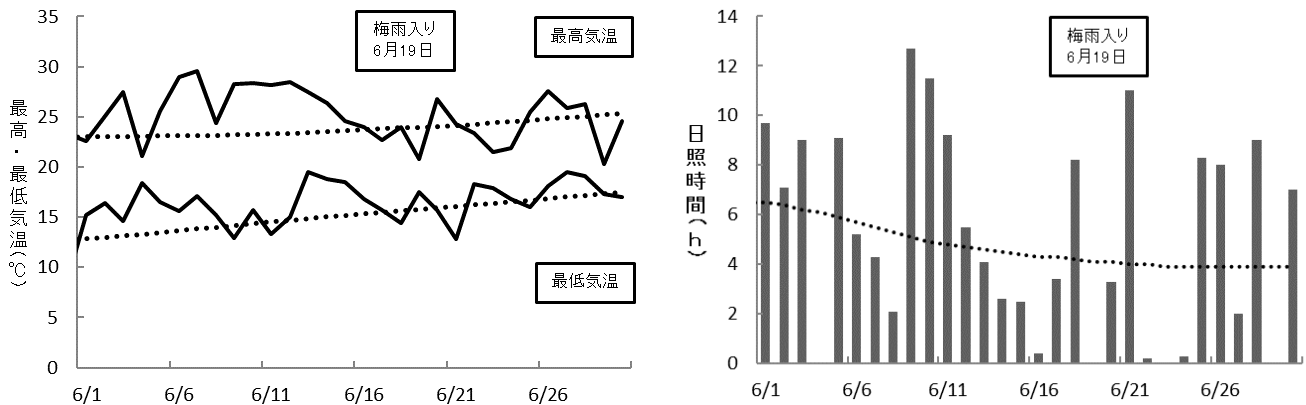


図1 気象経過（丸森アメダス、6月1日～6月30日）

※仙台管区気象台（7/1発表）の「向こう1か月の天候の見通し」では、東北地方は平年と比べて曇りや雨の日が多く、日照時間は平年並又は少ない見込みです。

## 2 管内の生育状況

### (1)【7月1日調査結果】（7月1日実施）

**平年に比べて、草丈はやや長い、茎数はやや少ない、葉数は平年並、葉色は平年並、幼穂は確認されず（1mm未満）**

- 南部平坦の「ひとめぼれ」は、草丈はやや長く、葉数はほぼ平年並となっており、有効茎数は確保されています。
- 幼穂は、今回の調査では確認されませんでした。7月上旬～中旬に幼穂形成期に達すると考えられます。
- 南部平坦の「つや姫」は、有効茎数を確保しています。
- 西部丘陵の「ひとめぼれ」は、葉数は平年よりやや多く、まもなく有効茎数を確保するとみられます。
- 山間高冷の「やまのしずく」は、葉数が平年よりもやや多く、茎数が平年よりもやや多く、まもなく有効茎数を確保するとみられます。

表1 管内の生育調査結果（7月1日）

□ 皆さんのほ場と場所や品種、田植日が近いところのデータを参考にして下さい。

No	ほ場所在地	地帯区分	品種	田植		草丈		茎数			葉数			葉色			
				本年	前年	(cm)	前年比	(本/m <sup>2</sup> )	前年比	前年比	(枚)	前年差	前年差	(GM)	前年差	前年差	
1	角田市	南部平坦	ひとめぼれ	5/14	5/16	54.1	105	99	469	94	88	10.2	▲ 0.6	▲ 1.0	40.7	0.2	▲ 2.1
2	大河原町	南部平坦	ひとめぼれ	5/8	5/9	63.5	112	108	591	83	84	11.0	0.7	0.3	40.5	▲ 1.9	0.7
南部平坦「ひとめぼれ」平均				5/11	5/12	58.8	108	103	529.6	88	86	10.6	0.0	▲ 0.4	40.6	▲ 0.9	▲ 0.7
3	角田市	南部平坦	つや姫※	5/20	5/23	52.9	104	107	535	100	101	9.6	▲ 0.5	▲ 0.4	44.2	▲ 0.6	0.1
4	村田町	南部平坦	つや姫※	5/4	5/5	54.6	105	100	463	89	102	10.1	▲ 0.2	▲ 0.9	39.0	▲ 5.2	▲ 1.7
5	白石市	西部丘陵	ひとめぼれ※	5/15	5/19	53.6	129	134	410	133	111	10.7	1.1	1.0	39.7	▲ 1.5	3.2
6	七ヶ宿町	山間高冷	やまのしずく	5/22	5/23	45.7	119	103	404	128	73	9.3	0.7	0.2	45.7	0.7	▲ 0.3

◆ 平年値は前5か年(H28～R2)の平均値

※白石市小原「ひとめぼれ」(調査 5 年目)は、西部丘陵「ひとめぼれ」の平年値との比較

角田市「つや姫」(調査 3 年目)及び村田町「つや姫」(調査 2 年目)は、南部平坦「つや姫」の平年値との比較

## (2) だて正夢について

- 南部平坦では、草丈は前年よりやや長く、葉数もやや進んでいます。茎数は前年と同程度で目標茎数が確保されていることから、中干しの時期となっています。幼穂は未だ確認されていません(1mm未満)。
- 西部丘陵では、南部平坦に比べて葉数が2枚弱少ないですが、目標茎数を確保していることから、中干しの時期となっています。

表2 だて正夢の生育調査結果（7月1日）

ほ場所在地	地帯区分	品種	田植		草丈		茎数		葉数		葉色	
			本年	前年	(cm)	前年比	(本/m <sup>2</sup> )	前年比	(枚)	前年差	(GM)	前年差
角田市	南部平坦	だて正夢	5/4	5/5	69.6	116	437.4	106	10.7	0.4	40.2	▲ 2.8
蔵王町	西部丘陵	だて正夢	5/19	5/19	52.6	100	424.4	92	8.9	0.0	43.9	▲ 2.0

## 3 今後の管理

### 【水管理】

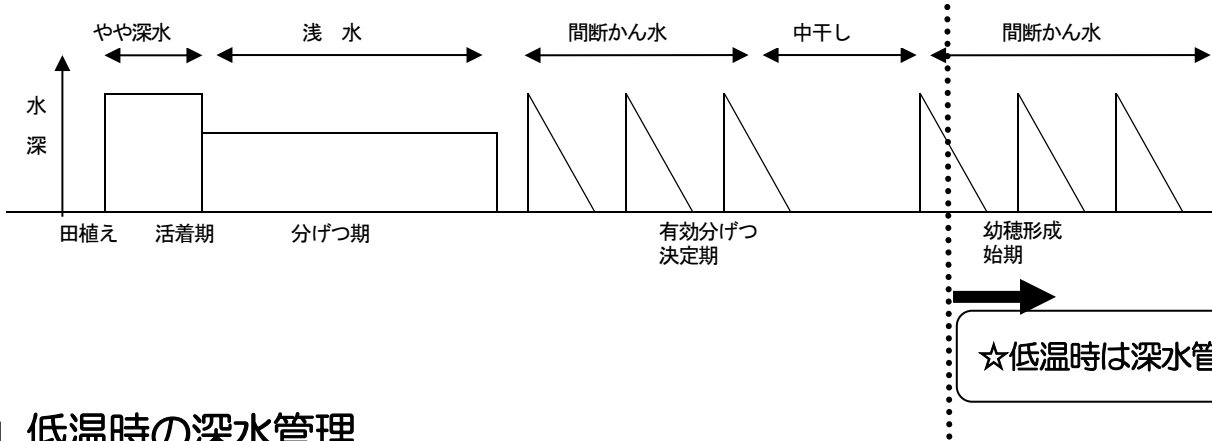
#### □ 中干し

- 今年、6月中旬まで好天が続いたことにより、ガスによる障害が散見されるため、早めの中干しを心掛けましょう。
- 西部丘陵以上の山間高冷地や「コシヒカリ」等の晩生品種を作付けしているなど、生育ステージの遅いほ場では、生育状況を確認し目標茎数を確保したら、根の活力向上、無効分げつの発生抑制及び土壌物理性の改善のため、中干しを行いましょ。
- 中干しの程度は、田面に小さな亀裂が入り、足跡が付く程度の固さまでとし、遅くとも幼穂形成期までには終えるようにしましょう。

## □ 中干し終了後の水管理

- 急に湛水状態にすると土壌の還元が進み、中干しをしない場合よりも酸素不足になり根を傷めやすくなります。
- 中干し終了直後は、走り水程度とし、徐々に湛水状態に戻しましょう。

### ※水管理のイメージ図



## □ 低温時の深水管理

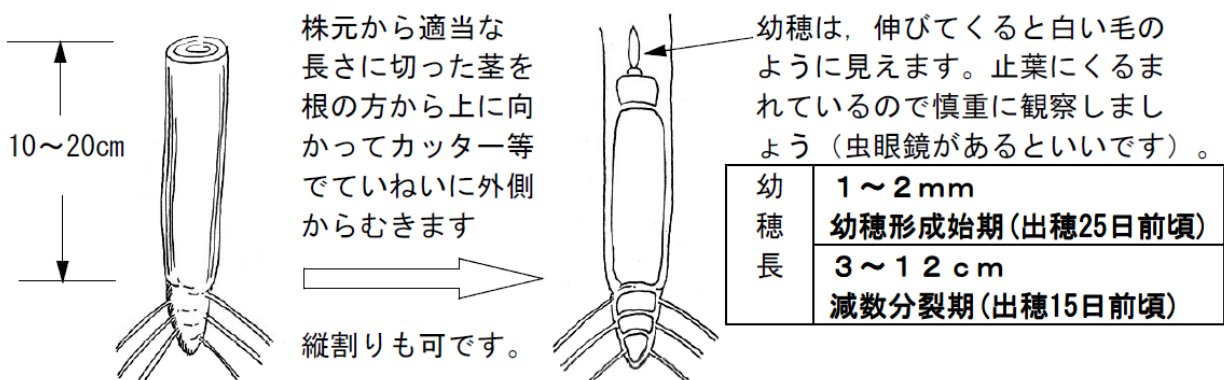
- 南部平坦地帯で5月上旬に田植えを行った「ひとめぼれ」等の中生品種は、まもなく幼穂形成期に入ります。
- 5月上旬植えの「だて正夢」も同様の生育ステージとなっています。
- 仙台管区气象台（6月25日発表）の「向こう1か月の天候見通し」（東北地方）では、平年に比べ曇りや雨の日が多く、降水量は平年並みまたは多い。日照時間は平年並みまたは少ない見込みとなっています。
- 生育ステージの把握に努めると共に、今後、低温（平均気温 20℃以下又は最低気温 17℃以下）が予測される場合には、幼穂を保護するための深水管理（水深 10cm 程度）を実施しましょう。

## 【 追 肥 】

### □ 幼穂長を確認して、適期に追肥をしましょう。

- 追肥は、幼穂長を調べて、「幼穂形成期」と「減数分裂期」に行います。
- 幼穂形成期の追肥は、分けつの退化防止と1穂粒数の増加に効果的です。  
しかし、窒素供給が過剰だと、下位節間を伸長させ倒伏を引き起こしたり、粒数過剰となり登熟不良を招きます。

### □ 幼穂長の調べ方について ※ 1ほ場で5～10本程度、調べます。



## □ 追肥をするか、しないかの判断について

- ・葉色を測定して、葉色が目安の範囲内か、小さければ、追肥可能です！
- ・葉色：「葉緑素計（SPAD-502）」を用いますが、比較的安価に入手できる「葉色板（カールスケール）」（富士平工業の7段階表示のもの）を使うこともできます。


表4 穂肥要否判定指標値及び目安


品種名	幼穂形成期			減数分裂期		
	葉色		施用時期と窒素量	葉色		施用時期と窒素量
	葉色版	葉緑素計		葉色版	葉緑素計	
ひとめぼれ	5.0~5.5	38~40	出穂25~20日前 1kg/10a	4.5~5.0	35~37	出穂15~10日前 1kg/10a
つや姫・まなむすめ	3.9~4.2	35~37	出穂25~20日前 2kg/10a	—		
ササニシキ	—			3.4~3.7	32~34	出穂15~10日前 1~1.5kg/10a
だて正夢	—			5.0	37~39	出穂15~10日前 2kg/10a

表5 葉色版（単葉）と葉緑素計の関係

葉色版(単葉)	4.5		5.0			5.5		6.0			6.5				
葉緑素計	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48

※幼穂形成期における施肥判断の目安

ひとめぼれ 

つや姫・まなむすめ 

## ※「だて正夢」の追肥について

- ・「だて正夢」の葉色は、品種特性上「ひとめぼれ」と比べて、2ポイント程度高いのが適正です。
- ・追肥は、充実度不足にならないよう、減数分裂期に窒素成分で2kg/10a施用が基本です。
- ・有効茎数（目標350~400本/m<sup>2</sup>）の不足が予想される場合は、幼穂形成期と減数分裂期に窒素成分で1kg/10aずつ施用してください。
- ・生育ステージにおける生育量、葉色等は以下の表を参考にしてください。

表6 「だて正夢」の生育ステージにおける生育量の目安

項目	幼穂形成期	減数分裂期
草丈(cm)	64~70	76~82
茎数(本/m <sup>2</sup> )	390~460	380~420
葉色 (SPAD 値)	40~42	37~39
葉色板 (単葉)	5.5~6.0	5.0

※「だて正夢」栽培暦より  
(収量540kg/10a)

## 【 病虫害防除 】

### ① 葉いもち

- ・発生時期（発生開始期）は「やや早い」（7月第2半旬）、発生量は「やや多い」となっています（6月25日 病虫害防除所発表）。
- ・箱処理剤の効果もなくなり、また、曇りや雨の日が続いていますので、水田をこまめに見回り、いもち病の早期発見、早期防除に努めましょう！

### ② 斑点米カメムシ類

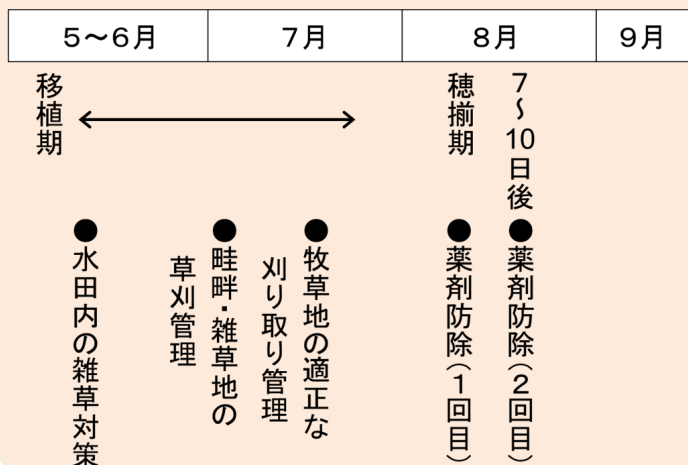
- ・発生時期（第1世代成虫発生盛期）は「やや早い」（7月第3半旬）、発生量は「平年並」となっています（6月25日 病虫害防除所発表）。
- ・ヒエやイヌホタルイ等の雑草があると、出穂前でもカメムシ類を水田に呼び寄せてしまいますので、水田内の雑草防除を行いましょう。
- ・水田周辺の雑草地、農道、畦畔などの草刈りは、出穂10日前まで（7月中旬頃まで）に終わるようにしましょう。



### < 斑点米カメムシ類 >

※本県の主要種：アカスジカスミカメ

#### 斑点米カメムシ類の防除対策



- ❑ 最新情報で農薬登録を確認のうえ、使用してください。
- ❑ 農薬使用の際に飛散防止対策を講じましょう。

## 4 直播栽培における管理のポイント

### 【7月1日調査結果】

- ・湛水直播栽培の生育について、草丈は前年よりやや長く、莖数は前年よりも多く、有効莖数を確保しており、中干しの時期を迎えています。葉数も前年よりもやや多くなっており、生育は前年よりもやや進んでいます。

表7 生育調査結果（7月1日）

ほ場所在地	品種	播種月日		苗立数(本/m <sup>2</sup> )		草丈		莖数		葉数		葉色	
		本年	前年	本年	前年	(cm)	前年比	(本/m <sup>2</sup> )	前年比	(枚)	前年差	(GM)	前年差
蔵王町	ひとめぼれ	5/11	5/9	69.3	59.4	44.1	116	531.3	128	9.1	0.5	40.4	▲ 4.2

## ①水管理

- ・目標穂数（ひとめぼれ：450本/m<sup>2</sup>）の80%程度を確保したら、溝きり・中干しを実施しましょう。  
（畝間30cmで1mあたり「120本」だと「400本」になります。）
- ・中干しの程度は、移植栽培の時よりも強めに、田面に亀裂が入る程度に行います。ただし、いもち病予防剤の施用直後の場合は、少なくとも3日程度は湛水状態を保った後、中干しを行います。
- ・中干し以降の水管理は、基本的には移植栽培と同じですので、原則として間断かん水とします。

## ②雑草防除

- ・直播栽培は、移植栽培に比べ雑草害を受けやすいので、防除時期を逸しないよう適期防除を心掛けましょう。
- ・直播栽培として登録のあるものしか使用できないので注意しましょう。

## ③病害虫防除

### 【葉いもち】

- ・水田をこまめに見回り、発生が見られた場合にはただちに防除に努めましょう。
- ・一旦発病すると移植栽培より急激に病勢が進展する場合がありますので、初発の確認が遅れないようにしましょう。

### 【イネツトムシ（イチモンジセセリ）】

- ・イネツトムシは、直播栽培で多発し、大きな被害を及ぼすことがあります。
- ・成虫は7月中旬から、葉色の濃いほ場を中心に産卵を始めます。
- ・直播栽培では、この時期の葉色は濃く、成虫が集中して産卵するので、移植栽培に比べて被害に遭いやすくなります。
- ・被害に気がついた時には、殺虫剤の効果が出にくい中～老齢虫になっており、防除適期を逃していることがよくありますので、発生予察情報や現場の発生状況をもとに、「8月上旬頃」の「若齢幼虫の発生最盛期」に防除しましょう。

## ○令和3年度宮城県農薬危害防止運動実施中（6/1～8/31）

農薬による事故を未然に防ぎ、消費者の皆さんに安全・安心な農産物を届けるため、農薬の使用に当たっては最新の登録情報を確認し、適正に使用しましょう。

最新の農薬情報は、農林水産省ホームページで確認できます。

([https://www.maff.go.jp/j/nouyaku/n\\_tekisei/index.html](https://www.maff.go.jp/j/nouyaku/n_tekisei/index.html))